

筑後市

新型コロナウイルス 感染症緊急対策

令和3年度事業（第9～14弾・令和2年度からの繰越事業）の総括

筑後市

2022年9月2日

目次

第9弾から第14弾、繰越事業の決算状況一覧	4
第9弾	7
1 全庁無線 LAN 化事業	8
2 テレワーク環境整備事業	9
3 避難所等感染防止対策事業	10
4 ワクチン接種者タクシー利用助成事業	11
5 キャッシュレス化推進事業	12
6 感染拡大防止事業（水栓改修）	13
7 中央公民館空調改修事業	14
第10弾	15
1 保育施設感染症対策支援事業	16
2 ワクチン接種協力医療機関支援金	17
3 抗原検査キット備蓄事業	18
4 プレミアム商品券発行事業【第3弾】	19
5 学習支援員等配置事業	20
6 学校教育活動継続支援事業	21
7 中央公民館トイレ改修事業	22
8 サザンクス筑後感染拡大予防・活動支援環境整備事業	23
第11弾	25
1 筑後市公式 LINE 構築事業	26
2 スマート行政推進事業（RPA の導入）	27
3 市民生活支援事業（衛生用品配付事業）	28
4 投票所感染防止対策事業	29
5 保険料等減免対策事業	30
6 保育所等業務効率化（ICT 化）推進事業	31
7 感染拡大防止事業（トイレ洋式化）	32
8 結婚応援事業（お茶セット配付事業）	33
9 修学旅行キャンセル料等支援補助事業	34
第12弾	35
1 マイナンバーカード取得促進事業	36
2 事業継続月次支援金給付事業	37
第13弾	39
1 フードパントリー支援事業	40
2 ひとり親家庭緊急応援金（第2弾）	41
3 卒業生支援事業～花束プロジェクト～（第2弾）	42
4 プレミアム商品券発行事業（第4弾）	43
5 就学援助対象者への特別給付金（第2弾）	44
第14弾	45
1 臨時特別出産祝金《期間再延長》	46
2 新入生への日傘配布	47

第2弾[繰越事業]	49
7 内定取消者・失業者等の緊急雇用	50
第5弾[繰越事業]	51
12 救急車等への除染装置配備	52
第7弾[繰越事業]	53
1 プレミアム商品券発行補助金（第2弾）	54
第8弾[繰越事業]	55
1 議会 ICT 化事業	56
2 行政手続オンライン化（コンビニ交付）事業	57
3 失業者支援給付金事業	58
4 介護認定審査会リモート環境整備事業	59
5 臨時特別出産祝金	60
9 飲食店応援クーポン発行事業（第2弾）	61
8 「新しい生活様式」移行支援事業（拡充版）	62
11①中学校特別教室への空調整備事業（羽犬塚中）	63
11②中学校特別教室への空調整備事業（筑後北中・筑後中）	64
13 図書行政推進（電子図書、書籍消毒機）	65

第9弾から第14弾、繰越事業の決算状況一覧

注 この表は第9弾から第14弾として取り組んだコロナ対策事業に係るもの及び令和2年度から令和3年度に繰り越して実施した事業を挙げています（網掛け行は繰越事業）。

注 国庫補助事業など、この表に挙げていない地方創生臨時交付金事業があるため、下表の地方創生臨時交付金額と歳入受入額は一致していません。

注 予算額は最初に計上した額で、その後の補正増減等は反映していません。

注 決算額等は千円未満を四捨五入しているため、実際の金額と一致しない場合があります。

連番	対策弾数	一覧番号	対策事業名称	議決日	予算額	決算額			繰越予算額				
						地方創生臨時交付金	国庫補助金等その他財源	一般財源	地方創生臨時交付金	国庫補助金等その他財源	一般財源		
合計					681,739	550,289	345,475	58,947	145,867	37,295	31,913	0	5,382
1	9	1	全庁無線LAN化事業	R3.4.30	38,923	38,903	15,315	0	23,588	0	0	0	0
2	9	2	テレワーク環境整備事業	R3.4.30	4,863	4,430	4,430	0	0	0	0	0	0
3	9	3	避難所等感染防止対策事業	R3.4.30	3,436	3,392	3,392	0	0	0	0	0	0
4	9	4	ワクチン接種者タクシー利用助成事業	R3.4.30	6,974	1,252	1,252	0	0	5,382	0	0	5,382
5	9	5	キャッシュレス化推進事業	R3.4.30	27,870	27,510	27,510	0	0	0	0	0	0
6	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）管財分	R3.4.30	1,100	1,280	1,280	0	0	0	0	0	0
7	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）人権・同和対策分	R3.4.30	200	199	199	0	0	0	0	0	0
8	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）子育て支援課分	R3.4.30	250	266	266	0	0	0	0	0	0
9	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）消防分	R3.4.30	150	165	165	0	0	0	0	0	0
10	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）教育総務課校舎分	R3.4.30	9,645	8,272	2,580	0	5,692	0	0	0	0
11	9	6.1	感染拡大防止事業（水栓改修）教育総務課教育集会所分	R3.4.30	100	144	144	0	0	0	0	0	0
12	9	6.2	感染拡大防止事業（水栓改修）≪サザンクス国庫補助1/2≫	R3.4.30	1,050	0	0	0	0	0	0	0	0
13	9	7	中央公民館空調改修事業	R3.4.30	1,300	1,298	1,298	0	0	0	0	0	0
14	10	1	保育施設感染症対策支援事業	R3.6.15	19,800	18,080	7,009	11,071	0	0	0	0	0
15	10	2	ワクチン接種協力医療機関支援金	R3.6.15	13,600	0	0	0	0	0	0	0	0
16	10	3	抗原検査キット備蓄事業（予備費使用）	R3.6.15	3,000	3,883	3,883	0	0	0	0	0	0
17	10	4	プレミアム商品券発行事業【第3弾】	R3.6.15	15,000	24,922	24,922	0	0	0	0	0	0
18	10	5	学習支援員等配置事業	R3.6.15	960	708	245	463	0	0	0	0	0
19	10	6	学校教育活動継続支援事業	R3.6.15	17,850	17,664	8,889	8,775	0	0	0	0	0
20	10	7	中央公民館トイレ改修事業	R3.6.15	20,497	18,222	18,222	0	0	0	0	0	0
21	10	8	サザンクス筑後感染拡大予防・活動支援環境整備事業	R3.6.15	21,939	18,648	9,339	9,309	0	0	0	0	0
22	11	1	筑後市公式LINE構築事業	R3.9.24	5,070	3,751	3,751	0	0	0	0	0	0
23	11	2	スマート行政推進事業（RPAの導入）	R3.9.24	2,279	2,231	2,231	0	0	0	0	0	0
24	11	3	市民生活支援事業（衛生用品配付事業）	R3.9.24	3,756	3,756	3,756	0	0	0	0	0	0
25	11	4	投票所感染防止対策事業	R3.9.24	4,792	4,549	4,549	0	0	0	0	0	0
26	11	5	保険料等減免対策事業	R3.9.24	7,965	0	0	0	0	0	0	0	0

連番	対策 弾数	一 覧 番 号	対策事業名称	議決日	予算額	決算額			繰越予算額				
						地方創生 臨時交付 金	国庫補助 金等その 他財源	一般財源	地方創生 臨時交付 金	国庫補助 金等その 他財源	一般財源	繰越	
27	11	6	保育所等業務効率化（ICT化）推 進事業	R3.9.24	11,500	6,991	0	6,991	0	0	0	0	0
28	11	7	感染拡大防止事業（トイレ洋式 化）	R3.9.24	9,087	7,526	7,526	0	0	0	0	0	0
29	11	8	結婚応援事業（お茶セット配付 事業）	R3.9.24	520	519	519	0	0	0	0	0	0
30	11	9	修学旅行キャンセル料等支援補 助事業	R3.9.24	6,500	0	0	0	0	0	0	0	0
31	12	1	マイナンバーカード取得促進事 業	R3.10.15	66,442	46,162	46,162	0	0	0	0	0	0
32	12	2	事業継続月次支援金給付事業	R3.10.15	28,417	35,738	35,738	0	0	0	0	0	0
33	13	1	フードパントリー支援事業	R4.1.21	2,000	1,937	1,937	0	0	0	0	0	0
34	13	2	ひとり親家庭緊急応援金（第2 弾）	R4.1.21	21,502	19,639	19,639	0	0	0	0	0	0
35	13	3	卒業生支援事業 ～花東プロジェクト～ （第2弾）	R4.1.21	2,072	2,072	2,072	0	0	0	0	0	0
36	13	4	プレミアム商品券発行事業【第4 弾】	R4.1.21	8,500	0	0	0	0	8,500	8,500	0	0
37	13	5	就学援助対象者への特別給付金 （第2弾）	R4.1.21	11,150	11,071	11,071	0	0	0	0	0	0
38	14	1	臨時特別出産祝金 ＜期間再延長＞	R4.3.24	22,588	0	0	0	0	22,588	22,588	0	0
39	14	2	新入生への日傘配布	R4.3.24	990	0	0	0	0	825	825	0	0
40	2	7	【繰越】 内定取消者・失業者等 の緊急雇用	R2.5.12	7,398	4,923	2,000	0	2,923	0	0	0	0
41	5	12	【繰越】 救急車等への除染装置 配備	R2.8.7	1,433	1,432	0	0	1,432	0	0	0	0
42	7	1	【繰越】 プレミアム商品券発行 補助金【第2弾】	R2.12.11	8,500	8,465	4,000	0	4,465	0	0	0	0
43	8	1	【繰越】 議会ICT化事業	R3.3.24	2,955	2,953	2,000	0	953	0	0	0	0
44	8	2	【繰越】 行政手続オンライン化 （コンビニ交付）事業	R3.3.24	10,680	9,887	5,000	0	4,887	0	0	0	0
45	8	3	【繰越】 コロナ不況による失業 者への慰労金	R3.3.24	30,087	8,409	8,409	0	0	0	0	0	0
46	8	4	【繰越】 介護認定審査会のリ モート（遠隔）開催に向けた関 連端末の導入事業	R3.3.24	8,551	8,465	4,000	0	4,465	0	0	0	0
47	8	5	【繰越】 臨時特別出産祝金事業 （継続）	R3.3.24	23,592	20,387	10,591	0	9,796	0	0	0	0
48	8	8	【繰越】 新入生（小中学校）支 援事業～花東プロジェクト～	R3.3.24	1,842	1,812	1,000	0	812	0	0	0	0
49	8	9	【繰越】 飲食店応援クーポン発 行事業 【2回目】	R3.3.24	7,324	6,005	2,000	0	4,005	0	0	0	0
50	8	10	【繰越】 「新しい生活様式」移 行支援事業 【拡充版】	R3.3.24	33,922	33,917	10,000	0	23,917	0	0	0	0
51	8	11①	【繰越】 特別教室への空調設備 整備	R3.3.24	39,832	35,972	25,184	0	10,788	0	0	0	0
52	8	11②	【繰越】 特別教室への空調設備 整備	R3.3.24	76,217	66,992	0	22,338	44,654	0	0	0	0
53	8	13	【繰越】 図書行政推進（電子図 書、書籍消毒機）	R3.3.24	5,769	5,490	2,000	0	3,490	0	0	0	0
合計					681,739	550,289	345,475	58,947	145,867	37,295	31,913	0	5,382

このページは空白です。

第9弾

第 9 弾

事業名 「 全庁無線 LAN 化事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		企画調整課
概	目的	○ 場所にとらわれず Web 会議に参加できる環境を構築 ○ ロビーや図書館等の公共スペースへ公衆無線 Wi-Fi を整備 ○ 全庁に無線 LAN 環境を整備
	対象者	○ 筑後市、市民
	内容	○ 各種設定作業等業務委託料、機器等設置工事、サーバ・ネットワーク機器等整備
	予算額	38,923 千円
要	予算額の積算 その他	無線アクセス・認証サーバ・既存ネットワーク機器等の設定作業費 13,477 千円 無線アクセス・ネットワーク機器収容箱設置工事費 3,080 千円 無線アクセス・認証サーバ・その他ネットワーク機器等購入費 22,366 千円
	決算額	38,903 千円
	決算額の内訳 等	環境構築・設定・工事費 11,816 千円 ネットワーク機器更新・無線 LAN 機器等導入費 26,653 千円 無線 LAN 管理ソフトウェア導入費 434 千円
経過・実績		○ 指名型プロポーザル方式での調達により、事業者の創意工夫による提案を採択（2 者より提案あり）。 ○ 業務用無線アクセス・ポイント 46 台、公衆無線アクセス・ポイント 8 台を導入。 ○ 出先（筑後保育所・子育て支援拠点施設）にも無線環境を構築。 ○ 公衆 Wi-Fi サービスを R4.4 開始（本庁 1 階、図書館、サンコア 3 階）。併せて議員用 Wi-Fi も運用開始（R4.5 月臨時会より）
成果		○ 全庁に無線 LAN 環境を構築したことにより、執務室を選ばず柔軟な分散勤務が可能になり、職員間の感染防止に繋がった。 ○ Web 会議への参加が庁内どこでも可能となったことで、会議室不足が緩和された。 ○ 公衆 Wi-Fi サービスにより、住民サービスの向上が出来た。
反省点等		○ 世界的な半導体不足により機器の納品が遅れた事もあり、予定スケジュールよりサービス開始が 2 カ月程度遅れた。 ○ 当初の予定に含めていなかった出先への環境構築を行うため、変更契約を締結した（R4.2）。

第 9 弾

事業名 「 テレワーク環境整備事業 」

一覧の番号		記入担当課
2		企画調整課
概	目的	○ 職員同士の接触機会を減らし3密を回避するため、職員が在宅で勤務可能な環境を構築する。
	対象者	○ 筑後市職員
	内容	○ テレワーク用PC購入 ○ モバイルルーター3回線整備
	予算額	4,863千円
要	予算額の積算 その他	インターネット接続回線（モバイルルーター3回線） 128千円 テレワーク用パソコン（40台） 4,735千円
	決算額	4,430千円
	決算額の内訳 等	インターネット接続回線（モバイルルーターレンタル） 30千円 テレワーク用パソコン（40台） 4,400千円
経過・実績		<ul style="list-style-type: none"> ○ テレワークシステムについては、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が実証事業として無償で利用可能なものを選択（372ライセンス取得、350名の職員が利用可能）して運用中。 ○ テレワーク用パソコンについては、自宅パソコンを持たない職員への貸し出し用として購入。インターネット回線のない職員には併せてモバイルルーターも貸与。 ○ 実施状況としては、これまでに87名の職員が延べ390日間テレワークを実施している（R3.5-R4.8出退勤記録より抽出）。
成果		○ テレワークにより、感染や濃厚接触等による出勤停止期間でも業務を完全に停滞することなく継続することができた。
反省点等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染拡大に伴い性急なシステム導入から運用を開始したため、操作方法が職員に充分周知されず、当初は操作ミスや設定もれによりテレワークが出来ない事象が発生した。 ○ 情報セキュリティの観点から住民情報等を取り扱う基幹系システムは、テレワーク対象業務から除外しているため、所属によりテレワークの実施状況に偏りが生じている。

第 9 弾

事業名 「 避難所等感染防止対策事業 」

一覧の番号		記入担当課
3		防災安全課
概要	目的	○ 災害時に開設する避難所での新型コロナウイルス感染症対策に係る物品の購入
	対象者	○ 市民
	内容	○ 避難所で使用する間仕切りや簡易ベッドを追加で購入
	予算額	3,436 千円
	予算額の積算 その他	ワンタッチパーテーション 2,145 千円、避難所用簡易ベッド 1,291 千円
	決算額	3,392 千円
	決算額の内訳 等	ワンタッチパーテーション 2,452 千円、避難所用簡易ベッド 940 千円
経過・実績		○ 避難所開設時の感染症予防用資機材として、ワンタッチパーテーション（115 張）や簡易ベッド（95 台）を備蓄した。
成果		○ 避難所開設時にパーテーションや簡易ベッドを設置し、避難者間で一定の距離を保つことで感染症予防を図ることができた。
反省点等		○ 間仕切り設置により、避難所の収容人数が減少するため、避難所の混雑状況を周知し、混雑緩和を図る必要がある。 ○ 避難所への資機材設置に時間を要するため、速やかに設置できるよう平時から訓練しておく必要がある。

第 9 弾

事業名 「 ワクチン接種者タクシー利用助成事業 」

一覧の番号		記入担当課
4		高齢者支援課
概要	目的	○ ワクチン接種の円滑化 ○ 地元タクシー事業者の事業継続を支援
	対象者	○ 市民、タクシー事業者
	内容	○ 新型コロナウイルスワクチンを接種するために個別医療機関や集団接種会場へ移動する交通手段がない人(高齢者や障害者など)に対して、タクシーの初乗り運賃相当分を助成
	予算額	6,974 千円
	予算額の積算 その他	事務費等 1,093 千円+タクシー利用委託料 5,881 千円
	決算額	1,252 千円 (5,382 千円は翌年度へ繰越)
	決算額の内訳 等	事務費等(消耗品費、タクシー利用券印刷製本費、郵便料等) 386 千円 タクシー利用委託料 866 千円
経過・実績	○申請期間：5/10～3/31 ○申請受付：筑後市ワクチン接種専用コールセンター 高齢者支援課 ○交付件数：523 件 (内 3 回目接種 174 件) ○タクシー利用券使用件数：1,303 件 ※残予算については、令和 4 年度に繰越して同事業に活用。	
成果	○ ワクチン接種会場までの移動手段が無い人に対しタクシーの初乗り運賃相当分を助成することで、ワクチン接種を推進することができた。 ○ コロナ禍でのタクシー会社支援にもつながった。	
反省点等	—	

第 9 弾

事業名 「 キャッシュレス化推進事業 」

一覧の番号		記入担当課
5		商工観光課
概	目的	○ 新しい生活様式に対応した、市民・市内事業者のキャッシュレス決済の普及 ○ コロナにより疲弊した地域経済の活性化を図る
	対象者	○ 市民、市内事業者
	内容	○ PayPay 加盟店での買い物に対する 20%のボーナス還元キャンペーンを実施。
	予算額	27,870 千円
要	予算額の積算 その他	還元率 20%分の費用負担、販売促進ポスター等製作費 消費額 135,450 千円×20%=27,090 千円 販売促進ポスター等製作費=780 千円
	決算額	27,510 千円
	決算額の内訳 等	消費額 133,020 千円×20%=26,604 千円 販売促進ポスター等製作費=906 千円
経過・実績		○キャンペーン期間 令和3年7月1日(木)～31日(土) ○キャンペーン期間中の対象店舗取引額 1億8,100万円 (キャンペーン前月 4,300万円)【+1億3,800万円 425%】 ○対象店舗における利用ユーザー数 220% ○対象店舗における一人あたりの利用回数 174%
成果		○ 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置のコロナ禍であったが、ユーザー数が増加し、キャッシュレス化に繋がった。また、一人あたりの利用回数も増え、キャンペーン期間前後の取引額も大幅に増加し、地域経済の活性化に寄与した。 ○ キャンペーン期間の決済30日後に20%のPayPayボーナスを付与することで更なる消費を促した。
反省点等		—

第 9 弾

事業名 「 感染拡大防止事業（水栓改修） 」

一覧の番号		記入担当課
6		契約管財課・消防本部・子ども家庭サポートセンター 教育総務課・人権・同和教育課
概 要	目的	○ 市民をはじめ来庁者が使用するトイレ、小中学校のトイレや手洗い場等の手洗い用水栓を自動水栓やレバー式に取り換えることで感染リスクを低減する。
	対象者	○ 市内公共施設（利用者）
	内容	○ 水栓取り換え工事
	予算額	11,445 千円
	予算額の積算 その他	本庁舎等(22 水栓) 1,100 千円 消防本部(3 水栓) 150 千円 子育て支援拠点施設(5 水栓) 250 千円 集会所等(6 水栓) 300 千円 小学校(685 水栓)・中学校(345 水栓) 9,645 千円
	決算額	10,326 千円
決算額の内訳 等	本庁舎等(27 水栓) 1,280 千円 消防本部(3 水栓) 165 千円 子育て支援拠点施設(5 水栓) 266 千円 集会所等(6 水栓) 343 千円 小学校(685 水栓)・中学校(345 水栓) 8,272 千円 注 この他、対策事業として補正予算は計上していませんが、公園等の水栓改修についても別途実施しています。また、この事業に位置付けていたサザンクス筑後分については、第 10 弾で実施したその他の感染対策と合わせて整理しています。	
経過・実績	○ 市民をはじめ来庁者が使用するトイレ等の手洗い用水栓を自動水栓に取り換えを実施した。 ○ 小学校 11 校、中学校 3 校において、手洗い場の水栓のレバー化改修を下記のとおり実施した。 ・廊下や特別教室等は既設全箇所 ¹ / ₂ の箇所をレバー化改修 ・トイレについては既設全箇所をレバー化改修	
成果	【庁舎等施設】 ○ 庁舎内の感染源に成り得る箇所についてあらかじめ対策を講じることで、庁舎内での感染拡大を防止できた。 【学校施設】 ○ 水栓のレバー化改修を行ったことで、水栓の接触軽減を図り、新型コロナウイルス感染症対策を行うことができた。	
反省点等	【庁舎等施設】 ○ 今回取り換えた自動水栓は電池式のため、今後は適切な維持管理に努める必要がある。 【学校施設】 ○ 今回は緊急の感染症対策として、予算の範囲で可能な限り多くの数を確保するため、レバー化改修を実施した。今後は、新型コロナウイルス感染症対策として高い効果が見込める自動水栓化改修の検討を進める必要がある。	

第 9 弾

事業名 「 中央公民館空調改修事業 」

一覧の番号		記入担当課
7		教育総務課
概要	目的	○ 多くの市民が生涯学習等で利用する中央公民館受付窓口に、換気と室温管理が両立できるよう空調を整備し感染拡大を防止する。
	対象者	○ 中央公民館（利用者）
	内容	○ 空調設置工事
	予算額	1,300 千円
	予算額の積算 その他	工事請負費 1,300 千円
	決算額	1,298 千円
	決算額の内訳 等	工事請負費 1,298 千円
経過・実績		○R3.5.21 工事着工 ○R3.6.22 工事完了 工事実績：中央公民館事務室に空調機を1台設置
成果		○ 事務室内に、換気をしながらでも室温管理ができる機能を有する空調を整備したことで、公共空間の快適性の向上とともに安全安心を確保することができた。
反省点等		—

第 10 弹

第 10 弾

事業名 「 保育施設感染症対策支援事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		児童・保育課
概要	目的	○ 保育施設等やその職員が、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくための支援
	対象者	○ 市内保育施設等
	内容	○ 感染対策に係るかかり増し経費（人件費）、衛生用品購入費、備品購入費等を対象経費として補助。 ○ 対象保育施設等と補助上限 ①保育所・認定こども園 500 千円/1 施設（全 15 施設） ②小規模保育事業 300 千円/1 施設（全 9 施設） ③学童保育所 400 千円/1 支援単位（全 21 支援単位） ④病児保育、子育て支援拠点、ファミサポ、利用者支援事業 各 300 千円
	予算額	19,800 千円
	予算額の積算 その他	対象施設等×上限額 ①7,500+②2,700+③8,400+④1,200=19,800
	決算額	18,080 千円
	決算額の内訳 等	保育施設感染症対策支援事業費補助金：16,875 千円 消耗品費、備品購入費（公立分）等：1,205 千円
経過・実績	○施設数：保育園 13、認定こども園 2、小規模保育事業所 9、放課後児童クラブ 18（支援単位）、病児保育施設 1、子育て拠点施設 1、ファミサポ 1、利用者支援事業 1 ○交付申請：各施設 ○交付決定：市 ○実績報告提出：各施設 ⇒感染症対策に関する業務実施に伴う手当、職員が感染防止対策として日常生活において必要とする物品等のほか、消毒液、抗原検査キット、マスク等の消耗品、空気清浄機等の備品購入など、感染症対策として要した経費を計上。	
成果	○ 昨年度に引き続き実施したが、各施設が現場の状況に応じて柔軟に新型コロナウイルス感染症対策に取り組むことができた。 ○ 職員が施設内の消毒・清掃等を行った場合の手当支給や感染防止対策のために必要な物品等の購入支援など、日々感染症対策に取り組む職員に直接的な支援を行うことにより、事業を継続的に実施することができた。	
反省点等	—	

第 10 弾

事業名 「 ワクチン接種協力医療機関支援金 」

一覧の番号		記入担当課
2		ワクチン接種対策室
概 要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、安全安心な接種体制を構築するため、ワクチン接種協力医療機関が行う感染拡大防止対策を支援
	対象者	○ ワクチン接種協力医療機関
	内容	「目的」に同じ
	予算額	13,600 千円
	予算額の積算 その他	・個別接種協力医療機関分 640 万円 (20 万円 × 32 医療機関) ・集団接種協力医療機関分 400 万円 (10 万円 × 40 医療機関) ・接種回数に応じた加算分 320 万円
	決算額	0 千円
決算額の内訳 等	地方創生臨時交付金事業としての決算額は 0 円 参考: 国庫補助事業としての実績は以下のとおりです。 14,200 千円 個別接種 ①35 医療機関 × 200,000 円 = 7,000,000 円 集団接種 ①40 医療機関 × 100,000 円 = 4,000,000 円 加算分 3,200,000 円 (36 医療機関)	
経過・実績	○ ワクチン接種推進のため、国が接種体制確保事業費補助金の対象経費と定めたことを受け、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業ではなく、ワクチン接種に係る国庫補助事業として実施。	
成果	○ 市内医療機関の協力により、1 回目接種率が 77.3%、2 回目接種率が 75.9%、3 回目接種率が 43.8% と国・県の平均を上回ることができた。	
反省点等		

第 10 弾

事業名 「 抗原検査キット備蓄事業 」

一覧の番号		記入担当課
3		契約管財課
概	目的	○ 台風接近に伴う避難所開設時など、体調のすぐれない人などに抗原検査を実施するため、市が検査キットを備蓄
	対象者	○ 市民
	内容	○ 抗原検査キット（4,600回分）を購入し備蓄 ○ 避難所開設時、発熱など体調のすぐれない方に対し抗原検査を実施
	予算額	3,000千円
要	予算額の積算 その他	3,000円×1,000回分（予備費活用）
	決算額	3,883千円
	決算額の内訳 等	◎合計 3,883,000円（4,600回分）
経過・実績		<p>○備蓄状況 令和3年6月に1,100回分（968千円） 令和4年1月に2,000回分（1,595千円） 3月に1,500回分（1,320千円）</p> <p>○第6波の感染急拡大に伴う保健所業務の逼迫などもあり、行政検査の範囲が狭められたため、早期の感染状況の把握、拡大防止を目的として市が実施した保育所等における抗原検査にも活用。</p> <p>○備蓄分を活用した保育所等における抗原検査実績は、令和4年1月31日から4月12日までの間で、小学校2校、学童保育所2施設、保育所等14施設、754人に対して実施。</p>
成果		<p>○医療機関の逼迫、検査キットが手に入りにくい状況の中、早期の感染状況の把握や行政検査の対象とならない者に対し抗原検査を迅速に行うことで、感染拡大防止の他、市民の不安払しょくにも効果を上げることができた。</p> <p>○この他、職員間に感染が広がる恐れがある場合などにも活用できたため、市の業務継続においても効果があった。</p>
反省点等		—

第 10 弾

事業名 「 プレミアム商品券発行事業【第3弾】 」

一覧の番号		記入担当課
4		商工観光課
概要	目的	○ 市内の中小小売店等の販売促進及び商店街の活性化 ○ 市内の消費喚起
	対象者	○ 市民 ○ 市内の筑後商工会議所会員事業所
	内容	○ 発行総額 360,000 千円（プレミアム分 20%）分のプレミアム付き商品券を発行し、プレミアム分 60,000 千円うち、25,000 千円を補助金として交付する。
	予算額	15,000 千円
	予算額の積算 その他	プレミアム分 60,000 千円 県：30,000 千円 市：25,000 千円 商工会議所：5,000 千円 注 市費 25,000 千円のうち、10,000 千円は当初予算計上
	決算額	24,922 千円
	決算額の内訳 等	補助金 24,922 千円
経過・実績	○予約期間：令和3年7月1日（木）～令和3年7月14日（水） ○引換期間：令和3年8月2日（月）～令和3年8月13日（金） ○有効期間：令和3年8月2日（月）～令和4年1月15日（土） ○登録店数：306 事業所	
成果	○ アンケートの結果より、購入者の 62 %が「プレミアム商品券があることで地元で購入する」、また、45%の方が「普段の買い物より消費が増える」と回答している。登録店の 42%がプレミアム商品券発行前より 売上が増加したと回答しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売上減少していた、地域への消費喚起が行われた。	
反省点等	○ 商品券購入者の年齢構成は年配者の割合が高く、更なる市内での消費喚起を促すため若年層への購入促進が課題である。この課題解決のため、キャッシュレス商品券の導入を検討する必要がある。	

第 10 弾

事業名 「 学習支援員等配置事業 」

一覧の番号		記入担当課
5		学校教育課
概 要	目的	○ 感染症対策を徹底しながら児童の学びの保障を行う。
	対象者	○ 羽犬塚小学校（19 学級以上の学校）
	内容	○ 習熟度に応じた学習の実施など学校教育活動を支援する「学習支援員」及び事務的作業や消毒作業等を補助する「スクールサポートスタッフ」を配置する。
	予算額	960 千円
	予算額の積算 その他	報酬 903 千円、共済費 3 千円、費用弁償 54 千円
	決算額	708 千円
	決算額の内訳 等	報酬 696,040 円、費用弁償 11,694 円
経過・実績		○配置人数：各 1 人 ○配置期間 令和 3 年 7 月～令和 4 年 3 月（学習支援員） 令和 3 年 6 月～令和 4 年 3 月（スクールサポートスタッフ）
成果		○ 羽犬塚小学校に学習支援員やスクールサポートスタッフを配置することで、教職員の負担を減らし、教職員が子どもと向き合う時間を確保することができた。また、学校での感染リスクの低減を図ることができた。
反省点等		-

第 10 弾

事業名 「 学校教育活動継続支援事業 」

一覧の番号		記入担当課
6		学校教育課
概要	目的	○ 感染症の拡大及びその拡大リスクを低減させながら、教育活動を着実に継続できるよう、必要経費の支援を行う。
	対象者	○ 市内小中学校
	内容	○ 感染症対策に必要な物品を購入する。 ○ 児童生徒の学びの保障のため家庭における効果的な学習に用いる教材の購入等を行う。
	予算額	17,850 千円
	予算額の積算 その他	小学校 13,290 千円 中学校 4,560 千円
	決算額	17,664 千円
	決算額の内訳 等	小学校 13,149,855 円 中学校 4,514,496 円 11 弾の修学旅行キャンセル料等支援補助に係る決算額を含む。
経過・実績	○ 学校における感染症対策及び児童生徒の学習保障を行うに当たり、学校長の判断で迅速かつ柔軟に実施できるよう、各学校に予算を配分した。 ○ 取組内容 ・学校における感染症対策 消毒液、マスク、ポリ手袋、手洗い用石鹸、ペーパータオル、空気清浄機、非接触型体温計、パーテーション、サーキュレーター、晴雨兼用傘等の購入、網戸の設置、修学旅行・校外学習用バスの増便等 ・児童生徒の学習保障 電子ドリル教材、デジタル教科書、タブレット用品の購入等	
成果	○ 感染症対策に必要な保健衛生用品等の物品を購入することなどにより、児童生徒・教職員の感染症対策を行うことができた。 ○ 電子ドリル教材やデジタル教科書を用いることで、児童生徒の効果的な学習につなげることができた。	
反省点等		

第 10 弾

事業名 「 中央公民館トイレ改修事業 」

一覧の番号		記入担当課
7		教育総務課
概	目的	○ 中央公民館のトイレ設備及び水栓等を改修し、衛生環境を改善することにより、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。
	対象者	○ 中央公民館
	内容	○ 設計、改修工事
要	予算額	20,497 千円
	予算額の積算 その他	設計委託料：1,863,000 円 改修工事費：18,634,000 円
	決算額	18,222 千円
	決算額の内訳 等	設計委託料：1,644,500 円 改修工事費：16,577,000 円
経過・実績		○R3.10.29 設計完了 ○R3.12.10 工事着工 ○R4.3.14 工事完了 工事实績：中央公民館トイレ設備の改修（洋式化）、手洗い用水栓の自動水栓化及び排水管等の改修
成果		○ トイレ設備の改修（洋式化）及び手洗いの自動水栓化により衛生環境の改善を行い新型コロナウイルス感染拡大防止を図ることができた。
反省点等		—

第 10 弾

事業名 「サザンクス筑後感染拡大予防・活動支援環境整備事業」

一覧の番号		記入担当課
8		社会教育課
概 要	目 的	○ サザンクス筑後の貸館事業並びに自主事業のイベント等の実施に際し、感染症防止対策のガイドラインを踏まえた取り組みへの支援（感染対策事業、環境整備事業、トイレの改修）を行うとともに、コロナ禍で必要とされる新たな活動に向けて配信等環境整備事業を行う。
	対 象 者	○ サザンクス筑後の利用者及び施設
	内 容	○ 感染対策に必要な物品の購入 ○ ホールの座席、手すり等の抗菌化処理 ○ 和式トイレ洋式化、手動水洗自動化の改修 ○ 映像・音声配信等に必要な物品の購入 ○ 施設内の Wi-Fi 環境整備
	予 算 額	21,939 千円
	予算額の積算 その他	・抗菌処理委託料：3,029 千円 ・設計委託料：983 千円 ・工事請負費：10,393 千円 ・備品購入費：7,534 千円
	決 算 額	18,648 千円
	決算額の内訳 等	・抗菌処理委託料：2,750,000 円 ・設計委託料：462,000 円 ・工事請負費：10,291,600 円 ・備品購入費：5,144,480 円
経過・実績		○ アクリルパーテーション：40 組、空気清浄機：2 台、空気汚染モニタリング機器：18 台、ホール座席等抗菌処理：一式、トイレ・手動水洗自動化改修工事：一式、映像・音声配信機器：一式、Wi-Fi 環境整備：一式
成果		○ 感染拡大を防ぐ感染対策事業、環境整備事業（抗菌処理）の実施、和式トイレ（洋式化）、手動式流水装置（自動センサー）の改修により、利用者の安全を確保することができた。 ○ 映像・音声配信等に必要な物品の購入、施設内の Wi-Fi 環境整備により、コロナ禍における利用者の新たな活動を支援することができた。
反省点等		-

このページは空白です。

第 11 弹

第 11 弾

事業名 「 筑後市公式 LINE 構築事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		総務広報課
概	目的	○ 既存のスマートフォンアプリにおいて、若年層から高齢層まで幅広い世代で利用されている LINE アプリを活用して、新型コロナウイルス感染症やワクチン接種に関する情報などを素早く発信する。
	対象者	○ 市民
	内容	○ 市公式 LINE アカウント取得及びシステム構築
要	予算額	5,070 千円
	予算額の積算 その他	システム構築委託料 5,070 千円
	決算額	3,751 千円
	決算額の内訳 等	システム構築委託料：2,574 千円 公式 LINE 公開周知費：1,100 千円 公式 LINE 公開周知チラシ印刷費：77 千円
経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○R3. 11. 1 LINE 構築事業公募型プロポーザル実施公告 ○ 12. 27 審査終了 ○R4. 1. 31 契約締結、業者決定（㈱クラブネッツ） ○ 1. 31～3. 18 構築作業 ○ 3. 10～3. 22 周知チラシを市内の一般家庭、事業所にポスティング ○ 4. 1 本運用開始、広報ちくごにより周知 ○ 4. 27 行政区長会にて周知 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市政情報を発信する新たなツールを構築し、運用を開始することができた。 ○ 友だち登録者：4,506 人（8/2 時点） ○ 発信数：215 件（8/2 時点・うち感染者数の発信：123 件） 	
反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ○ プロポーザル方式による調達において、仕様書や審査評価基準の作成、審査にあたりシステムに関する専門的知識を要し、対応に大変苦慮した。知識習得等を含め調達にかかる時間（期間）が必要だった。 ○ LINE を活用する部署に偏りがあるため、今後全庁的活用に向け、職員の意識醸成と操作研修への取組みが必要。 	

第 11 弾

事業名 「 スマート行政推進事業 (RPA の導入) 」

一覧の番号		記入担当課
2		企画調整課
概	目的	○ 新型コロナウイルス感染症対策（接触低減）として、定型業務や単純作業等について、RPA 技術を活用した業務プロセスの自動化を行い、職員の長時間勤務による感染リスク低減を図る。
	対象者	○ 職員
	内容	○ RPAシステムの導入
要	予算額	2,279 千円
	予算額の積算 その他	RPA 導入業務委託料 2,063 千円 初年度ライセンス料 216 千円
	決算額	2,231 千円
	決算額の内訳 等	RPA 導入業務委託料 2,145 千円 初年度ライセンス料 86 千円
	経過・実績	○ RPAシステムについては、県内 55 団体で構成する「ふくおか電子自治体共同運営協議会」にて共同調達を行った製品を選択した。 ○ 税務課（住民税特別徴収の異動）、企画調整課（電子メール仕訳）、総務広報課（各システムのアカウント管理）の各業務についてソフトウェアロボット作成を委託した。
成果	○ ロボットによる業務の自動化により、各システムのアカウント管理業務にて年度末の人事異動時に約 5 時間の短縮が出来た。 ○ ロボットの自製化に向け、情報担当職員の人材育成（Eラーニングによる自己学習）を行った。	
反省点等	○ RPAの活用は現状ごく一部の職場に限られており、今後は全庁への展開を図っていく必要がある。	

第 11 弾

事業名 「 市民生活支援事業（衛生用品配付事業） 」

一覧の番号		記入担当課																													
3		男女共同参画推進室																													
概 要	目的	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困っている人へ、生理用品や紙おむつ等を配布。																													
	対象者	○ 市民																													
	内容	○ 市で生理用品や紙おむつを購入し、市の窓口での配布や学校等への設置により、広く困っている方への支援につなげる。																													
	予算額	3,756 千円																													
	予算額の積算 その他	配布物品購入費 3,756 千円																													
	決算額	3,756 千円																													
	決算額の内訳 等	生理用品 275 円×4,250 個×1.1 紙おむつ 1,280 円×1,647 個×1.1 おしりふき 85 円×1,623 個×1.1 支出額合計 3,756,349 円																													
経過・実績	<p>○配布期間 令和3年10月28日～令和4年3月31日</p> <p>○配布窓口 庁内4部署、社会福祉協議会、おひさまハウス</p> <p>○窓口以外の配布先（生理用ナプキンのみ配布） 市内小・中学校、高等学校2校 福岡県立筑後特別支援学校、九州大谷短期大学</p> <p>○配布数：</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="6">紙おむつ</th> <th rowspan="3">おしりふき</th> <th rowspan="3">生理用 ナプキン</th> </tr> <tr> <th colspan="3">テープタイプ</th> <th colspan="3">パンツタイプ</th> </tr> <tr> <th>S</th> <th>M</th> <th>L</th> <th>M</th> <th>L</th> <th>Big</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配布数</td> <td>203</td> <td>186</td> <td>54</td> <td>423</td> <td>504</td> <td>277</td> <td>1,623</td> <td>4,250</td> </tr> </tbody> </table> <p>窓口配布残は、社会福祉協議会及び九州大谷短期大学に提供。</p>		紙おむつ						おしりふき	生理用 ナプキン	テープタイプ			パンツタイプ			S	M	L	M	L	Big	配布数	203	186	54	423	504	277	1,623	4,250
	紙おむつ						おしりふき	生理用 ナプキン																							
	テープタイプ			パンツタイプ																											
	S	M	L	M	L	Big																									
配布数	203	186	54	423	504	277	1,623	4,250																							
成果	<p>○ スムーズに衛生用品を受け取れるよう「意思表示カード」の作成及び可能な限り女性職員が対応したことで、多くの方に利用してもらうことができた。</p> <p>○ 配布と同時に、困りごとを相談する窓口や電話番号、支援先をまとめた「相談先一覧カード(チラシ)」も配布し、経済的に困窮している方の孤立を防ぐことができたと思われる。</p> <p>○ 各種学校へ生理用品を配布したことで、学生の「生理の貧困」への対応も行うことができた。</p>																														
反省点等	<p>○ 広報やHP、ポスター掲示、乳幼児健診案内時等で広く周知したつもりではあったが、後半受け取りに来られる人が多かったことを考えると、事業開始から周知方法をもっと広げる工夫をすべきであった。今後事業を取り組む際は、LINE等を活用した周知の工夫を行っていく。</p>																														

第 11 弾

事業名 「 投票所感染防止対策事業 」

一覧の番号		記入担当課
4		選挙管理委員会
概	目的	○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、投票所における接触機会の軽減、密を回避。
	対象者	○ 市民（投票人）、投票事務従事者
	内容	○ 目的を達成するために必要となる選挙機材を購入。
	予算額	4,792 千円
	予算額の積算 その他	備品購入費：投票用紙自動交付機 12 台、記載台 24 台
要	決算額	4,549 千円
	決算額の内訳 等	投票用紙自動交付機：308 千円×12 台=3,696 千円 投票用紙記載台：35,530 円×24 台=852,720 円 合計 4,549 千円
経過・実績		○投票用紙自動交付機、投票用紙記載台の調達 契約日：令和 3 年 10 月 1 日 検収日：令和 3 年 10 月 29 日 ○衆議院議員総選挙（令和 3 年 10 月 31 日執行）にて活用 ○筑後市長選挙（令和 3 年 11 月 14 日執行）にて活用
成果		○ 衆議院議員総選挙及び筑後市長選挙における期日前（1 か所）及び当日（12 か所）の全投票所にて、自動交付機を活用し投票用紙を選挙人に渡すことで接触機会を軽減することができた。 ○ 上記選挙の全投票所において、記載台の台数を増設したことで選挙人同士の距離（間隔）を保ち、密を回避することができた。
反省点等		—

第 11 弾

事業名 「 保険料等減免対策事業 」

一覧の番号		記入担当課
5		市民課・高齢者支援課
概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染症により収入が一定以上減少した被保険者等について、保険料等の減免措置を実施します。
	対象者	○ 市民（被保険者等）
	内容	—
	予算額	7,965 千円
	予算額の積算 その他	国民健康保険税分：7,702 千円 介護保険料分：263 千円
	決算額	0 千円
	決算額の内訳 等	
経過・実績		○ 国庫負担の拡充が行われることとなったため、新型コロナウイルス感染症緊急対策事業としては実施しておりません。
成果		(参考) 減免実績等 ○令和3年度介護保険料減免実績 申請件数7件 減免件数6件 減免額343,970円 ○令和3年度国民健康保険税減免実績 申請件数35件 減免件数22件 減免額3,318,400円
反省点等		—

第 11 弾

事業名 「 保育所等業務効率化（ICT化）推進事業 」

一覧の番号		記入担当課
6		児童・保育課
概要	目的	○ 保育所等におけるICT化推進により、保育士等の業務負担軽減を図り、働きやすい環境を整備するとともに、ペーパーレス化等による感染症対策を支援する。
	対象者	○ 園児・保育所等
	内容	○ 保育計画や記録、園児の登園及び降園の管理、保護者との連絡に関する機能を備えたシステムを導入する保育所等に対し補助金を交付。
	予算額	11,500 千円
	予算額の積算 その他	保育所等への導入補助金：10,500 千円 公立保育所システム導入費：1,000 千円
	決算額	6,991 千円
	決算額の内訳 等	業務効率化推進事業費補助金 6,991 千円
	経過・実績	○施設数：保育所8園 5,114 千円 小規模保育事業所：3園 1,877 千円 ○ 公立保育所のシステム導入費は、既導入システムがICT化に対応できたため、経費不要となった。
成果	○ システム導入によるICT化に伴い、指導計画や保育記録、保護者への周知連絡など、パソコンやタブレットで可能になる作業が増え、保育士の事務負担軽減につながった。また、園児の登降園のシステム管理やペーパーレス化等、新型コロナウイルス感染症対策にも適している。	
反省点等	○ 3園が検討の結果、導入見送りとなった。ICT化することのメリットを職員まで十分伝えきれなかった。	

第 11 弾

事業名 「 感染拡大防止事業（トイレ洋式化） 」

一覧の番号		記入担当課
7		福祉課・教育総務課
概 要	目的	○ 高齢者が多く利用するシルバーワークプラザや児童生徒教職員等が利用する教育研究所の衛生環境を改善することにより、新型コロナウイルス感染拡大を防止する。
	対象者	○ 市民（施設利用者）
	内容	○ トイレの洋式化及び手洗い用水栓を自動水栓に改修
	予算額	9,087 千円
	予算額の積算 その他	シルバーワークプラザ 設計委託料：500 千円 工事費：4,587 千円 教育研究所 設計委託料：500 千円 工事費：3,500 千円
	決算額	7,526 千円
要	決算額の内訳 等	シルバーワークプラザ 設計委託料 462,000 円 工事請負費 3,963,300 円 教育研究所 設計委託料 484,000 円 工事請負費 2,616,680 円
	経過・実績	○シルバーワークプラザ トイレ改修工事設計 R3.10. 8～3.11.19 工事 R3.12.24～4. 3. 9 下水道接続工事 R4. 1. 8～4. 3.16 公共汚水柵設置工事 R4. 1.13～4. 2.28 ○教育研究所 トイレ改修工事設計 R3.10. 9～3.11.15 工事 R3.12.25～4. 3.10
成果	○ トイレ設備の改修（洋式化）及び手洗いの自動水栓化を行うことで新型コロナウイルス感染拡大を防止するための衛生環境の改善を実現することができた。	
反省点等	—	

第 11 弾

事業名 「 結婚応援事業（お茶セット配付事業） 」

一覧の番号		記入担当課
8		農政課
概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により依然として販売額が落ち込んでいるお茶農家を支援。
	対象者	○ お茶農家
	内容	○ 婚姻届を提出された夫婦に煎茶とお茶ボトルを贈呈
	予算額	520 千円
	予算額の積算 その他	お茶ボトル（750ml）2,200 円×130 本 煎茶 900 円×2 袋×130 組
	決算額	519 千円
	決算額の内訳 等	3,996 円/1 セット【お茶ボトル（750ml）、煎茶 2 袋】×130 セット =519,480 円
経過・実績		○納品日：令和3年9月30日（木） 令和4年1月31日（月） 令和4年3月29日（火）
成果		○ お茶農家の売上額増額及び今後のお茶の消費拡大、加えて新婚夫婦を祝うなど貢献できたと思われる。 ○ 若い世代のお茶離れが危惧されているなか、お茶に親しむきっかけづくりの一つとなったと思われる。 ○ 婚姻届の提出の際に贈呈するため、「記念になった」「嬉しい」等の声があり好評であった。
反省点等		○ 婚姻届の受理数が月によって増減があり、発注から一定期間を要することと、ある程度の数量での発注となるため一定の広さで高温多湿にならない保管場所の確保が必要となる。

第 11 弾

事業名 「 修学旅行キャンセル料等支援補助事業 」

一覧の番号		記入担当課
9		学校教育課
概要	目的	○ 感染症対策等のため学校が修学旅行の中止等を決定した際のキャンセル料等の費用を補助する。
	対象者	○ 児童・生徒の保護者
	内容	○ 感染者発生や感染症対策等のために学校が修学旅行を中止又は延期を決定した場合又は児童生徒が新型コロナウイルス感染症への感染の疑い等により修学旅行に参加しなかった場合のキャンセル料等の費用を小中学校に在籍する児童生徒の保護者が支払った場合は、当該キャンセル料等に相当する経費を市が当該保護者に対し補助を行う。
	予算額	6,500 千円
	予算額の積算 その他	小学校 2,000 千円 中学校 4,500 千円
	決算額	0 千円
	決算額の内訳 等	※10 弾の学校教育活動継続支援事業の補助対象経費として支出しているため、当該事業での決算額は0円としている。 【参考】キャンセル料補助実績：小学校 13,738 円
	経過・実績	○ 筑後市立小中学校修学旅行キャンセル料等補助金交付要綱に基づき補助した。 ○ 補助件数：1件 ○ 感染者発生や感染症対策等のために学校が修学旅行を中止又は延期を決定したケースはなかった。
成果	○ 感染症対策等のために修学旅行をキャンセルした際の費用を市が補助することにより、児童生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。 ○ 修学旅行キャンセル料等補助金により安心して修学旅行に参加してもらうことができた。	
反省点等	○ 必要経費が感染状況に左右されるため、予算の積算が容易でない。	

第 12 弹

第 12 弾

事業名 「 マイナンバーカード取得促進事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		市民課
概要	目的	○ワクチン接種証明書発行をはじめ行政手続のデジタル化において、基盤となるマイナンバーカード取得を促進する。
	対象者	○マイナンバーカード取得者
	内容	○マイナンバーカードを取得していただいた方に、市内で利用可能な商品券を配布する。
	予算額	66,442 千円
	予算額の積算 その他	商品券発行等業務委託料 55,500 千円 マイナンバーカード交付管理システム導入委託料 1,746 千円 郵便料 3,180 千円 会計年度任用職員 4,387 千円 その他事務費 1,629 千円
	決算額	46,162 千円
	決算額の内訳 等	商品券発行等業務委託料 35,326 千円 マイナンバーカード交付管理システム導入委託料 2,057 千円 交付管理システム利用料 330 千円 郵便料 3,085 千円 会計年度任用職員 4,712 千円 その他事務費 652 千円
経過・実績	○ 令和 3 年 5 月 1 日以降にマイナンバーカードを申請し、令和 4 年 2 月 28 日までにマイナンバーカードの交付を受けた市民 6,694 人に対し、地域で使える 5,000 円分の商品券を配布。	
成果	○ 商品券事業開始時の 11 月末時点交付率 33.53%から、事業が終了した 2 月末時点では交付率 43.87%となり、10.34%交付率を引き上げることができた。	
反省点等	—	

第 12 弾

事業名 「 事業継続月次支援金給付事業 」

一覧の番号		記入担当課
2		商工観光課
概要	目的	○ 緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置に伴い、飲食店の休業・時短営業又は外出自粛の影響を受けている中小企業等の事業継続を支援。
	対象者	○ 国の「月次支援金」、又は県の「福岡県中小企業者等月次支援金」の給付を受けた事業者。 【法人】市内に事業所又は事務所を有する者 【個人】市内に居住する者、もしくは市内に事業所又は事務所を有する者
	内容	○ 国の「月次支援金」、又は県の「福岡県中小企業者等月次支援金」の給付を受けた事業者へ上乗せ支給を行うもの。対象期間は令和3年5月から10月の6か月間で、月額上限は法人10万円、個人5万円。
	予算額	28,417千円
	予算額の積算 その他	月次支援金 28,350千円 事務費 67千円 ※想定より申請が増えた為、令和4年2月に8,380千円を予算流用した。 最終予算額は36,797千円
	決算額	35,738千円
	決算額の内訳 等	振込手数料 22,440円 月次支援金 35,716,000円
経過・実績		○申請期間：令和3年11月1日～令和4年2月28日 消印有効 ○申請受付：市 ○交付決定・給付：市 ○給付件数：204件（申請204件、事業者数193件） （同一業者が複数回に分けて申請するケースがあった為） ※3/11完了
成果		○ 国と県の申請で終わったと思っている事業者が多く、しばらくは申請件数が伸び悩んだが、国と県からの情報提供を基に電話連絡を行ったところ、申請件数が大幅に増えた。最終的には193事業者について、615カ月分の売上補填を支援できた。
反省点等		○ 本制度について広報、HP、チラシで告知しているものの、市の制度を把握していない事業者が多数あった。 ※国と県からの情報提供を基に、対象となる事業者へは電話、チラシ郵送で直接案内を行った。

このページは空白です。

第 13 弹

第 13 弾

事業名 「 フードパントリー支援事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		福祉課
概 要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大によって、収入減少等の影響を受けている「ひとり親世帯」を支援する。 ○ 支援品を市内事業者から購入することで、コロナ禍において影響を受けている市内事業者も併せて支援する。
	対象者	○ ひとり親世帯
	内容	○ 社会福祉協議会が実施しているフードパントリー事業に対し、食料等提供支援を実施。
	予算額	2,000 千円
	予算額の積算 その他	提供食料購入費 2,000 千円 (40人×10回×単価5,000円)
	決算額	1,937 千円
	決算額の内訳 等	(米 10kg) 3,758 円×200 袋=751,600 円 (フリーズドライ味噌汁) 1,250 円×600 袋=750,000 円 (ゴミ袋大・可燃ゴミ) 400 円×400 袋=160,000 円 (ゴミ袋大・プラスチック) 200 円×400 袋=80,000 円 (ナイロンポリ袋) 62 円×1,200 枚=74,400 円 (不織布マスク 50 枚入) 302 円×400 箱=120,800 円
経過・実績	○納品業者：川の駅船小屋恋ぼたる ○配付場所：筑後市社会福祉協議会 ○配布対象者：ひとり親世帯 ○配付期間：毎月	
成果	○ 食料品のみならず、ゴミ袋等の生活必需品も支援することで、家計負担の軽減、利用世帯児童生徒の食の確保につながった。 ○ 支援直後の令和4年3月以降、毎月60世帯程度が利用されている。	
反省点等	—	

第 13 弾

事業名 「ひとり親家庭緊急応援金（第2弾）」

一覧の番号		記入担当課
2		児童・保育課
概 要	目的	○新型コロナウイルス感染症拡大による減収や離職など深刻な影響を受けているひとり親世帯を支援。
	対象者	○ひとり親世帯
	内容	○児童扶養手当の対象児童がいる世帯に対し、対象児童ひとりあたり2万円の応援金を支給。また、国の子育て世帯臨時特別給付金の対象児童を養育しているものの、離婚等が原因で受給できなかった世帯へ児童一人当たり10万円を支給。
	予算額	21,502千円
	予算額の積算 その他	応援金 21,400千円 事務費 102千円
	決算額	19,639千円
	決算額の内訳 等	応援金 19,580千円 振込手数料 59千円
	経過・実績	○ひとり親家庭応援金 ① 2万円×859人=17,180千円 ② 10万円×24人=2,400千円 【対象】 ① 令和4年3月期の児童扶養手当受給対象のひとり親世帯 ② 基準日以降にひとり親となり、国の子育て世帯臨時特別給付金を受給できなかった世帯
成果	○コロナの影響が長引いており、困難を強いられているひとり親世帯に応援金を支給することで、生活の一助となった。	
反省点等	—	

第 13 弾

事業名 「 卒業生支援事業～花束プロジェクト～(第2弾) 」

一覧の番号		記入担当課
3		農政課
概 要	目的	○ コロナ禍により影響を受けている市内花き農家を支援し、併せて卒園及び卒業(小中学生)される園児、児童・生徒を祝福する。
	対象者	○ 花き農家、卒園児・卒業生
	内容	○ 1,000円程度の花束を保育園・幼稚園の卒園児及び小中学校の卒業生へ贈呈。
	予算額	2,072千円
	予算額の積算 その他	花束 800円(幼・保育園児)×500名=400,000円 1,000円(小学生)×520名=520,000円 1,200円(中学生)×460名=552,000円 花飾り 20,000円×30(小中学校14校、幼・保育園16園)=600,000円
	決算額	2,072千円
要	決算額の内訳 等	花束 800円(幼・保育園児)×500名=400,000円 1,000円(小学生)×520名=520,000円 1,200円(中学生)×460名=552,000円 花飾り 20,000円×30(小中学校14校、幼・保育園16園)=600,000円
	経過・実績	○納品日：幼・保育園 令和4年3月 18日(土)、24日(木)、25日(金)、 26日(土)、27日(日) 小学校 令和4年3月18日(金) 中学校 令和4年3月11日(金)
成果	○ 市内花き農家の売上額増額に貢献できたと思われる。また、発注先の市内花屋からも「いい取り組み」と称賛いただいた。 ○ 入園・入学する園児及び小中学生、会場となった幼・保育園及び小中学校の式典を市内産の花によって華やかにすることができ、保護者や関係者には好評だった。	
反省点等	○ コロナで生活様式が一変、冠婚葬祭の花き需要がコロナ前の状態へ戻る見込みが立たないなか当事業は有効な事業と思われる。 ○ コロナ後も継続するには予算確保が課題となるだろうが、多くの児童生徒が卒園・卒業から入学へと対象者が重複するため、卒園・卒業式を主に実施できればと思われる。	

第 13 弾

事業名 「 プレミアム商品券発行事業（第4弾） 」

一覧の番号		記入担当課
4		商工観光課
概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて低迷している地域経済を活性化する。
	対象者	○ 市内事業者（登録店舗）
	内容	○ 発行総額 120,000 千円（プレミアム分 20%）分のプレミアム付き商品券を発行し、プレミアム分 12,000 千円のうち、8,500 千円を補助金として交付する。
	予算額	8,500 千円
	予算額の積算 その他	プレミアム分 20,000 千円のうち、福岡県 10,000、市 8,500 千円、商工会議所 1,500 千円をそれぞれ負担
	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳 等	
経過・実績	令和4年度へ予算を繰り越して事業実施中 ○予約期間：R4.3.1～3.11 ○引換期間：R4.3.22～3.31 1回目の引換で残った場合、繰り上げ当選を行い、完売するまで繰り上げ当選を行い、完売。 ○使用期間：R4.3.22～R4.7.31 ○登録店数：300 事業所	
成果		
反省点等		

第 13 弾

事業名 「 就学援助対象者への特別給付金（第2弾） 」

一覧の番号		記入担当課
5		学校教育課
概要	目的	○ 経済的に厳しい就学援助世帯に対して支援を行う。
	対象者	○ 就学援助の対象世帯
	内容	○ 特別給付として、小学生1人につき15,000円、中学生1人につき25,000円を支給する。
	予算額	11,150千円
	予算額の積算 その他	小学生 15,000円×410人=6,150千円 中学生 25,000円×200人=5,000千円
	決算額	11,071千円
	決算額の内訳 等	小学生 15,000円×403人=6,045千円 中学生 25,000円×199人=4,975千円 振込手数料 51千円
経過・実績	○ 給付件数 小学生 403人 中学生 199人	
成果	○ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、就学援助対象世帯は平常時よりも経済的に厳しい状況が続いていることが予想されるため、就学援助対象者へ特別給付金の支給を行うことで、経済的な支援ができた。	
反省点等	-	

第 14 弹

第 14 弾

事業名 「 臨時特別出産祝金<期間再延長> 」

一覧の番号		記入担当課
1		児童・保育課
概要	目的	○次代を担う子どもの出産を祝福 ○子育て世帯が安心して育児に取り組めるよう支援
	対象者	○令和5年4月1日までの間に生まれた子どもを出産した母 ※出産した日から当該祝金の申請日まで継続して本市の住民基本台帳に記録されている者 ※出産日の翌日から起算して3月を経過する日までに申請
	内容	○対象の子ども1人につき5万円を支給 ○R2年度第4弾、R3年度第8弾にて実施した当該祝金について、出生期間を1年間再延長するもの
	予算額	22,588千円
	予算額の積算 その他	祝金 50千円×450人=22,500千円 事務費 88千円
	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳 等	
	経過・実績	
成果		
反省点等		

第 14 弾

事業名 「 新入生への日傘配布 」

一覧の番号		記入担当課
2		学校教育課
概要	目的	○ 日傘を配布することで、児童のフィジカルディスタンスの確保と熱中症対策を行う。
	対象者	○ 新小学1年生
	内容	○ 令和4年度に新たに小学1年生となる児童に対し、日傘を配布する。
	予算額	990 千円
	予算額の積算 その他	日傘購入費 1,980 円×500 人分
	決算額	全額明許繰越
	決算額の内訳 等	
経過・実績	○これまでの日傘配布状況 令和2年度 全児童配布 [第4弾] R2.7月 令和3年度 ①令和3年度新入生へ配布 [第10弾] R3.6月 第10弾の6番「学校教育活動継続支援事業」において購入して配布 ②令和4年度新入生へ配布 [第14弾] R4.4月 (本事業) ※[]内はコロナ対策弾数	
成果		
反省点等		

このページは空白です。

第 2 弾[繰越事業]

第 2 弾

繰越事業

事業名 「 内定取消者・失業者等の緊急雇用 」

一覧の番号		記入担当課
7		市長公室
概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、内定取消しや失業等により職を失った市民等を対象に、緊急的に会計年度任用職員として雇用することで、生活の安定を図るもの。
	対象者	○ 感染拡大の影響により解雇・内定取り消しされた労働者や事業継続できなくなった個人事業主やフリーランス等
	内容	○ 補助的パートタイム会計年度任用職員（事務補助）として雇用する。
	予算額	繰越明許費 7,398 千円
	予算額の積算 その他	補助的パートタイム会計年度任用職員 3月×10人分 報酬：5,664,000 円 期末手当：505,000 円 費用弁償：272,000 円 共済費：957,000 円 計 7,398,000 円
	決算額	4,923 千円
	決算額の内訳 等	報酬：3,947,125 円 期末手当：267,342 円 費用弁償：150,300 円 共済費：558,429 円 計 4,923,196 円
経過・実績	○ 第2弾として予算化（17,317千円）。 ○ 令和2年度決算額は9,686千円で申込者数20人中、任用実績11人（R3.3.31現在）。残予算を令和3年度に繰り越し、事業を継続することとした。 ○ 令和3年度は、申込者15人中、任用実績11人（その他内訳：辞退1人、一般登録3人） ・辞退理由：他の就職先が見つかった ・本事業の趣旨に合致しない申込分は、一般枠での登録とした。	
成果	○ 失業等の影響により収入が著しく減少した労働者等が、一時的とはいえ、就労することによって必要な収入を得て、生活の安定を図ることができた。	
反省点等	○ 任用期間満了時点で、再就職先等が決まった人は、把握している限りでは11人中2人とどまった。本来希望している業種での雇用環境が改善していないことも要因の一つのよう。なお、R4.4.1以降、当市の一般登録枠で再度の任用をした人は11人中4人。	

第 5 弾[繰越事業]

第 5 弾

繰越事業

事業名 「 救急車等への除染装置配備 」

一覧の番号		記入担当課
12		消防警防課
概 要	目的	○ 救急車両等にオゾン殺菌器を備えることで、感染患者の救急搬送等に伴う感染リスクを低減させる。
	対象者	○ 救急車両 2 台及び事務室等
	内容	○ 各種感染対策として、救急車及び移動式除染装置の配備。
	予算額	繰越明許費 1,433 千円
	予算額の積算 その他	令和 2 年度補正予算額 2,490 千円 実績額 713 千円 令和 3 年度繰越 1,433 千円 (不用額 344 千円)
	決算額	1,432 千円
	決算額の内訳 等	令和 3 年度繰越 BT-088 一式 1 台 : 1,432 千円
経過・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○令和 2 年 12 月 17 日 入札：不調 ○令和 3 年 1 月 21 日 入札：落札業者 福岡トヨタ自動車 ○令和 3 年 3 月 2 日 納入遅延についての報告受領 ○令和 3 年 3 月 3 日 履行期限を 3/31 から 9/30 に変更 ○令和 3 年 3 月 16 日 一部納入 (救急車 2 台に設置) BT-03 2 台 ○令和 3 年 3 月 24 日 議会にて繰越明許議決 ○令和 3 年 3 月 24 日 物品売買変更契約締結 (納期延長) [繰越] ○令和 3 年 6 月 29 日 BT-088 一式納入 [完了] 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急車内で搬送患者・救急隊員に影響のない安全最大濃度を常に維持することで、感染リスクを軽減している。(BT-03) ○ 救急資器材庫・事務室・救急活動用ガウン・新型コロナウイルス感染者搬送後の車内の除染に大きく活躍している。また、避難所設営後の除染にも貸出使用している。(BT-088) 	
反省点等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特殊な装置である為、業者選定に時間を要した。 ○ 1 回目の入札が不調に終わり、契約が遅延した。 ○ 新型コロナウイルス感染拡大により一部納入出来ず、年度をまたぐ結果となった。 	

第7弾[繰越事業]

第 7 弾

繰越事業

事業名 「 プレミアム商品券発行補助金（第2弾） 」

一覧の番号		記入担当課
1		商工観光課
概要	目的	○ 市内の中小小売店等の販売促進及び商店街の活性化 ○ 市内の消費喚起
	対象者	○ 市民 ○ 市内の筑後商工会議所会員事業所
	内容	○ 発行総額 120,000 千円（プレミアム分 20%）分のプレミアム付き商品券を発行し、プレミアム分 12,000 千円うち、8,500 千円を補助金として交付する。
	予算額	繰越明許費 8,500 千円
	予算額の積算 その他	令和2年12月に補正予算計上。全額令和3年度に繰り越し。
	決算額	8,465 千円
	決算額の内訳 等	補助金 8,465 千円
経過・実績	○予約期間：R3.1.4～1.15 消印有効 ○引換期間：R3.2.8～2.19 1回目の引換で残った場合、繰り上げ当選を行い、完売するまで繰り上げ当選を行い、完売。 ○対面販売：なし ○有効期間：R3.2.8～R3.6.15 ○登録店数：301 事業所	
成果	○ 新型コロナウイルスの影響により、消費意欲の冷え込みも懸念されるなか、このプレミアム商品券が、地域における消費の喚起策として、消費購買意欲の一翼を担い、地域経済の活性化への一定の経済効果があったと思われる。	
反省点等	○ 販売総額 1 億円分の追加発行であったが、多くの購入申込があり、約半数の方が落選という結果になった。	

第8弾[繰越事業]

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 議会 ICT 化事業 」

一覧の番号		記入担当課
1		議会事務局
概	目的	○ 議会にタブレット端末を導入し、ICT化を進める ○ オンラインによる会議、研修、情報共有など議会活動を継続できる環境を整備する
	対象者	○議会（議員・事務局）
要	内容	○タブレット端末の導入
	予算額	繰越明許費 2,955 千円
	予算額の積算 その他	備品購入費（タブレット 22 台）1,980 千円、その他 975 千円
	決算額	2,953 千円
	決算額の内訳 等	①備品購入費（タブレット一式 22 台） 2,689,295 円 ②手数料（議会文書共有システム導入費） 264,000 円
経過・実績		○業者選定・契約準備：～8月 ○契約日：①8月27日 ②9月27日 ○納品等：①9月29日納品 ②10月21日納入 ○説明会等：10月（システム説明：21日 タブレット操作：27日） ○使用基準策定：12月10日施行（12月定例会開会日） ※12月定例会から試行開始（今期まで紙と併用） ※令和2年度では、導入経費のみを予算化しており、運用経費（通信費）に関しては、令和3年度以降、単費で予算化して対応。
成果		○ タブレットにラインワークスを導入したことで、迅速に情報が伝達できるようになった。ビデオ通話ができることも有効である。 ○ 議会文書共有システムとしてサイドボックスを導入したことで、クラウド上で膨大な議会資料等の携行や保管が可能となった。コロナ禍で議員や事務局職員が来庁できない場合でも、タブレットで資料の確認ができるなど効率的な議会運営を図ることができている。 ○ タブレット内の Zoom アプリでリモート会議等が可能となった。 ○ 議会だより編集特別委員会は、完全ペーパーレスで実施しており、事前に校正資料を確認することで協議の活性化や事務局の資料作成時間の短縮につながっている。
反省点等		○ 令和5年4月の改選後に向け、議会運営委員会で、タブレット活用の詳細について検討している。議会の効率化や迅速化など議会活動の充実のため、利便性とペーパーレス化のバランスを追求する必要がある。 ○ タブレットの操作は個人差があり、定期的なフォローが必要である。 ○ 改選後、オンライン委員会が実施できるよう条例等の改正を進めている。

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 行政手続オンライン化（コンビニ交付）事業 」

一覧の番号		記入担当課
2		市民課
概	目的	○ 感染拡大防止のため、市民の来庁時の感染リスクを低減する。
	対象者	○ 市民
	内容	○ 住民票（写）と印鑑登録証明書のコンビニ交付のための環境整備を行うもの
	予算額	10,680 千円
	予算額の積算 その他	導入関連委託料 10,180 千円、 需用費他 500 千円
	決算額	9,887 千円
要	決算額の内訳 等	8 旅費 56 千円
		10 需用費 61 千円
		11 役務費 1 千円
		12 委託料 9,680 千円
		17 備品購入費 89 千円
経過・実績 (導入スケジュール)	○ 交付の際の手数料額設定について方針決定を行い、令和 3 年 12 月議会において必要な手数料条例の一部改正を行った。	
	○ 作業実績 <ul style="list-style-type: none"> ・システム設計等：10 月 ・システム構築及びテスト：11 月～12 月 ・システム確認試験：1 月～2 月 ・業務運用試験：3 月 1 日 ・コンビニ実店舗試験：3 月 10 日 	
成果	○事業開始時 【4 月分コンビニ交付実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の写し 256 件 14.17% ・印鑑登録証明書 126 件 17.24% 	
	○直近 【7 月分コンビニ交付実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の写し 270 件 16.77% ・印鑑登録証明書 152 件 19.51% 	
反省点等	○ 広報紙、SNS 等による周知、また、市民課窓口において周知活動を行っているが、マイナンバーの所有者も窓口に交付申請のため来庁されるケースがあり、さらに周知を行う必要がある。	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 失業者支援給付金事業 」

一覧の番号		記入担当課
3		福祉課
概 要	目的	○ コロナ禍において事業主都合により失業した市民の苦労を労うための見舞金
	対象者	以下の要件を全て満たす人 ○ 令和2年4月1日～令和3年12月31日の間に事業主都合により離職したこと ○ 離職の3ヶ月前の日から見舞金の給付申請日まで、継続して筑後市の住民基本台帳に登録されていること ○ 見舞金の給付申請日時点において生活保護法の規定による保護を受けていないこと
	内容	○1人10万円を支給 ※ 給付は対象者1人につき1回まで
	予算額	30,087千円
	予算額の積算 その他	見舞金3,000千円+役務費等
	決算額	8,409千円
	決算額の内訳 等	見舞金100千円×84人=8,400千円 振込手数料110円×85件=9,350円（振込不能により再振込1件あり）
	経過・実績	○ 申請期間：《令和2年4月1日～令和3年3月31日離職者》 ・令和3年4月26日～10月31日 《令和3年4月1日～令和3年12月31日離職者》 ・令和4年1月11日～2月28日（対象者を拡大） ○ 申請受付：市民生活部福祉課 ○ 交付決定・給付：市 ◎ 給付件数：84人
成果	○ 対象条件や期間を拡大したこともあり、経済状況が厳しいと思われる失業者を支援することができた。	
反省点等	—	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 介護認定審査会リモート環境整備事業 」

一覧の番号		記入担当課
4		高齢者支援課
概要	目的	○ 介護認定審査会委員の感染拡大防止を図る
	対象者	○ 介護認定審査会委員 30 名（医療・介護等従事者）・事務局 （1 回の会議で 6 名 × 年間約 80 回）
	内容	○ 介護認定審査会をリモート形式で実施ができるよう端末を整備する
	予算額	8,551 千円
	予算額の積算 その他	システム入替作業 550 千円、システム設定 275 千円、 審査会用 PC 7,480 千円 Microsoft チームスライセンス 246 千円
	決算額	8,465 千円
	決算額の内訳 等	審査会用 PC 導入、システム入替・設定 8,305 千円 Microsoft チームスライセンス 160 千円
経過・実績	○ リモート審査会実施回数 15 回（令和 3 年度） ○ 審査件数 306 件	
成果	○ 介護認定審査会をリモート形式で実施することができるようになり、各委員及び事務局職員の感染防止につながった。また、リアルタイムで音声通話や資料の共有等が可能なため、対面に近い形で審査会を実施することができた。	
反省点等	○ 10 月より実施予定であったが、機器の資材不足や各委員への操作説明等に時間を要し、1 月からの実施となった。	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 臨時特別出産祝金 」

一覧の番号		記入担当課
5		児童・保育課
概要	目的	○次代を担う子どもの出産を祝福 ○子育て世帯が安心して育児に取り組めるよう支援
	対象者	○令和4年4月1日までの間に生まれた子どもを出産した母 ※出産した日から当該祝金の申請日まで継続して本市の住民基本台帳に記録されている者 ※出産日の翌日から起算して3月を経過する日までに申請
	内容	○対象の子ども1人につき5万円を支給 ○第4弾にて実施した当該祝金について、出生期間を1年間延長するもの
	予算額	繰越明許費 23,592千円
	予算額の積算 その他	祝金 50千円×470件+事務費（郵便料、振込手数料）92千円
	決算額	20,387千円
	決算額の内訳 等	祝金 50千円×406件=20,300,000円 事務費 87,190円（うち臨時交付金対象 82,460円）
	経過・実績	○R2年度第4弾の残予算の一部とともに令和3年度へ繰越 ○R2年度実績比+52件
成果	○ 子育て世帯への経済的な支援により、コロナ禍での育児不安を払拭するための一助となった。	
反省点等	○ 今回の取組（臨時特別出産祝金の期間延長）は、全国的でも特徴的な取組であるとして、日経新聞に掲載された。	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 飲食店応援クーポン発行事業（第2弾） 」

一覧の番号		記入担当課
9		商工観光課
概要	目的	○ 市内の飲食店の事業継続支援 ○ 市内産業の維持 ○ 市内の消費拡大の促進
	対象者	○ 市民 ○ 市内の飲食店 参加希望店舗
	内容	○ 1店舗あたり 500 円のクーポン券を 200 枚配布し、参加店舗利用者が 2,000 円商品購入ごとに 1 枚（500 円）配布し、1,000 円購入ごとに 1 枚（500 円）を利用できる。発行総額（500 円×200 枚×60 店舗、500 円×100 枚×20 店舗）7,000,000 円のクーポン券を発行し、回収分を各店舗に補助金として交付する。
	予算額	繰越明許費 7,324 千円
	予算額の積算 その他	コロナ対策第4弾(本事業の第1弾)の残予算 7,324 千円を明許繰越
	決算額	3,891 千円
	決算額の内訳 等	補助金 3,342 千円 (500 円×6,684 枚) 委託料 549 千円
	経過・実績	○ 申込期間：R3. 10. 1～10. 11 ○ 参加店舗：61 店舗（申込は 62 店舗、うち 1 店舗は申請後閉店） ○ 利用期間：R3. 11. 1～12. 15 ○ 換金期間：R3. 12. 16～R4. 1. 14 ○ 実績報告：配布枚数 10,700 枚 回収枚数 6,684 枚 換金金額 3,342 千円（500 円×6,684 枚） 5 月に実施予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、11 月に事業を延期した。
成果	○ アンケートでは、86%の店舗で好評だった。クーポンを配布することでリピート率が上がるなど、消費拡大の促進もできたといえる。 ○ 前回の反省を生かし、店舗ごとに配布枚数（100 枚・200 枚）を選んでもらったところ、多くの店舗で配布枚数が増加した。 ○ 参加した店舗の 88%が、また参加したいと回答しており、事業者の事業継続支援にもつながっている。	
反省点等	○ クーポンの配布枚数の上限を 100 枚から 200 枚に増やしたが、一部の店舗で配布から数日で終了してしまうケースがあった。	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 「新しい生活様式」移行支援事業（拡充版） 」

一覧の番号		記入担当課
10		かんきょう課
概 要	目的	○ 新しい生活様式及び感染拡大予防ガイドラインの普及促進 ○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止及び社会経済活動の両立
	対象者	○ 市内で事業を営む中小企業者等。 ○ 新しい生活様式及び感染拡大予防ガイドラインの実践による新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組を実施し、経費を支払った者。 ※事業主の居住地は問わない
	内容	○ 事業所ごとに10万円を上限として補助金を交付。複数事業所を持つ1事業者の上限は20万円。
	予算額	繰越明許費 33,922千円
	予算額の積算 その他	第5弾事業として令和2年度で実施した残予算を明許繰越
	決算額	繰越明許費 33,916千円（現年度 1,411千円）
	決算額の内訳 等	補助金：33,008,000円 報酬・郵便料・手数料等：2,319,355円
経過・実績	○申請期間：令和3年6月1日～令和4年4月15日 消印有効 ○申請受付：市 ○交付決定・給付：市 ◎給付件数：355件（申請359件、取下げ3件、不交付1件） ○令和3年度繰越明許費決算額33,916,595円 この他、年度末の駆け込み申請への対応を行うため、令和3年度現年度予算より1,410,760円を執行	
成果	○事業を継続したことで、感染防止対策に要した経費の軽減に繋がりが、さらに感染対策が進んだ。 ○空気清浄機やサーモカメラ、換気工事等は高額なため、本事業の活用を通して普及が進んだ。	
反省点等	○市内の事業所数からすれば、給付件数は多くはなく、もっと広報周知する必要があった。 ○写真や領収証等の添付書類が煩雑であるとの意見があった。	

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 中学校特別教室への空調整備事業（羽犬塚中） 」

一覧の番号		記入担当課
11①		教育総務課
概	目的	○教育環境向上 ○災害時の避難所機能向上
	対象者	○羽犬塚中学校
	内容	○特別教室への空調設備設置
要	予算額	繰越明許費 39,832 千円
	予算額の積算 その他	設計委託料：2,112 千円、工事請負費：37,720 千円
	決算額	35,972 千円
	決算額の内訳 等	設計委託料：992 千円 工事請負費：34,980 千円
経過・実績		○R3.8.13 設計完了 ○R3.11.5 工事着工 ○R4.3.10 工事完了 工事实績：特別教室など14室へ空調機を新設・更新（受電設備改修含む）
成果		○空調設備の新設・更新により、夏季の猛暑等で使用を控えていた特別教室の快適性を高めることができ、生徒が集中して学習に取り組めるようになり、教育環境の向上を図ることができた。
反省点等		○新型コロナウイルス感染症対策として、今回は中学校の教育環境の衛生環境向上として、特別教室への空調整備事業を実施した。今後は、同様の観点に基づき、小学校における特別教室への空調整備も検討していく必要がある。

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 中学校特別教室への空調整備事業（筑後北中・筑後中） 」

一覧の番号		記入担当課
11②		教育総務課
概	目的	○教育環境向上 ○災害時の避難所機能向上
	対象者	○筑後北中学校、筑後中学校
	内容	○特別教室への空調設備設置
	予算額	繰越明許費 76,217 千円
	予算額の積算 その他	設計委託料：4,040 千円、工事請負費：72,177 千円
	要	決算額
決算額の内訳 等		設計委託料：2,187 千円 工事請負費：64,805 千円
経過・実績		<p>【筑後北中学校】 【筑後中学校】</p> <p>R3.8.13 設計完了 R3.8.13 設計完了</p> <p>R3.11.2 工事着工 R3.11.4 工事着工</p> <p>R4.3.10 工事完了 R4.3.10 工事完了</p> <p>工事实績：特別教室など 11 室（筑後北中学校）、12 室（筑後中学校）へ空調機を新設・更新（受電設備改修含む）</p>
成果		○ 空調設備の新設・更新により、夏季の猛暑等で使用を控えていた特別教室の快適性を高めることができ、生徒が集中して学習に取り組めるようになり、教育環境の向上を図ることができた。
反省点等		○ 新型コロナウイルス感染症対策として、今回は中学校の教育環境の衛生環境向上として、特別教室への空調整備事業を実施した。今後は、同様の観点に基づき、小学校における特別教室への空調整備も検討していく必要がある。

第 8 弾

繰越事業

事業名 「 図書行政推進（電子図書、書籍消毒機） 」

一覧の番号		記入担当課
13		社会教育課
概要	目的	○ 新型コロナウイルス感染拡大で図書館来館を躊躇している図書館利用者が来館せずインターネット利用で読める電子図書館サービスを導入し、市民の読書環境を整備する。 また、図書館利用者に安心安全に来館いただくため、本を借りる際、利用者が本を除菌できるよう除菌機を設置する。
	対象者	○ 市民
	内容	○ 電子書籍及び本の除菌機整備
	予算額	繰越明許費 5,769 千円
	予算額の積算 その他	電子図書館システム導入・運用及び電子書籍購入費用 4,992 千円 本の除菌機 847 千円
	決算額	5,490 千円
	決算額の内訳 等	本の除菌機 660 千円 電子図書館システム導入・運用及び電子書籍購入費用 4,830 千円
	経過・実績	○本の除菌機 5月 設置業者決定（6月設置） ○電子図書館サービス 11月 委託業者と契約 1月 電子図書館システム利用開始 3月 電子書籍追加購入
成果	○ 除菌機を使用することで安心して図書館の本を借りていただけるようになった。 ○ コロナ禍において、図書館に来館せずインターネットによる電子書籍を利用してもらうことで市民の読書環境の充実や生涯学習の機会の増加に繋がった。	
反省点等	○ 電子書籍の選書や導入業者の選定に時間を要し、電子図書館サービスの開始時期が予定より遅くなり、1月となった	